

国際原子力事象評価尺度
(INES:International Nuclear Event Scale)について

1. INESとは

(1)国際原子力事象評価尺度(INES)は、国際原子力機関(IAEA)及び経済協力開発機構原子力機関(OECD/NEA)が、原子力発電所等の個々のトラブルが安全上どのような意味を持つものかを簡明に表現できるような指標として1992年に策定したものである。

(2)2006年に放射性輸送物の輸送中の事故等にかかる基準を含む追加ガイダンスが発行された。

2. 放射性同位元素等の陸上輸送事象に係る我が国の対応

当省においては、2006年の追加ガイダンスを受け、内規を定め、次のような取扱いを行っている。

(1)INES 暫定評価

事業者からの事故発生後の通報に基づいて、文部科学省と連携して INES 暫定評価を行い、結果を公表する。

(2)INES 正式評価

事業者からの詳細な報告書に基づく情報を収集した後、自動車交通局に設置された「放射性物質陸上輸送技術検討会」を開催し、文部科学省の委員会等と連携を図り、その検討結果を踏まえて、自動車交通局及び文部科学省は、INES 正式評価を行い、公表する。

【国際原子力事象評価尺度(INES)】

参考事例

